

第5期米沢市観光振興計画（案）に係るパブリック・コメントの結果

1 募集対象計画等

第5期米沢市観光振興計画（案）

2 募集期間

令和8年1月26日(月)～令和8年2月16日(月)

3 意見の提出者数及び件数

提出者数 4者／提出件数 5件

4 意見の内容及び意見に対する回答

次ページ以降に記載しています。

第5期米沢市観光振興計画（案）に対するパブリック・コメントへの回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
1	第1章 計画策 定の基本的な考 え方 1観光振興の目 的	1	<p>当該項目「1 観光振興の目的」の文言の末尾に次のとおり追記してほしい。</p> <p>「この好循環を持続的なものとしていくためには、観光施策を単発的な取組として実施するのではなく、地域資源の特性を踏まえながら、施策の重点化と継続的な取組を図ることが重要です。そのため、限られた財源や人材を効果的に活用し、観光による経済的効果を着実に地域へ還元していく視点を持って施策を推進します。</p> <p>また、観光振興の取組にあたっては、行政、DMO、観光関係団体、民間事業者など多様な主体がそれぞれの役割を担いながら連携し、地域全体として観光価値の向上に取り組むことが求められます。</p> <p>さらに、施策の実施状況については、観光消費や宿泊動向などを踏まえながら可能な範囲で成果の把握に努め、その結果を今後の施策改善や次の取組につなげていくことにより、持続的な観光振興を図ります。」</p> <p>下記の理由により、修正の必要があると考える。</p> <p>①財源論ではなく「持続性確保」の観点への整理</p> <p>本章は個別の財源手法を示すものではなく、観光振興を地域経済の持続的発展につなげる基本的方向性を示す章であるため、財源論ではなく「施策の重点化」「継続的取組」「地域</p>	<p>当該部分については、観光振興が地域経済や雇用、まちづくりに与える効果など、観光振興を推進する目的について記載した部分です。</p> <p>いただいたご意見につきましては、観光振興を、施策の重点化や関係者の連携、成果の活用により、地域経済に継続的な効果を生む持続的な取組として進める必要がある旨を当該部分に追記すべきという内容として受け止めておりますが、本計画における重点的視点や計画推進における役割分担、具体的な施策・取組内容として、第3章（P52以降）において整理し記載しております。</p> <p>このため、当該部分の記載につきましては現行のとおりとし、修正は行わないこととさせていただきます。</p>	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
			<p>への経済効果還元」といった持続性確保の観点で整理する必要がある。</p> <p>②「施策拡充」ではなく「重点化」の明示 施策を網羅的に拡大するのではなく、限られた財源・人材を有効活用するため、「施策の重点化と継続的な取組」という考え方を明確にする必要がある。</p> <p>③DMOを「協働の主体」として位置付け 特定主体による統括ではなく、行政・関係団体・民間事業者等が役割分担し連携する協働体制として整理し、既存体制との整合性と実務的連携を明確にする必要がある。</p> <p>④成果把握を「改善のための活用」として整理 評価の義務化を強調するのではなく、成果把握を施策改善に活用する位置付けとし、柔軟性を保ちながらPDCAの視点を確保する必要がある。</p> <p>このような理由から、理念的整理としての整合性を確保し、現行制度・組織体制との整合を図りつつ、実施段階で柔軟かつ実効的な運用を可能とするため、修正案を提示する。</p>		

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
2	第3章 本市の 目指す姿と目標 6具体的な施策 (1)選ばれ続ける持続可能な 観光魅力づくり ③持続可能な 観光地づくりに 向けた取組 イ 財源獲得 のための新たな 取組	60	<p>当該項目「イ 財源獲得のための新たな取組」について、次のとおり修正してほしい。</p> <p>「昨今の物価や人件費の高騰により、祭り等のイベント運営経費が増加していることに加え、観光施設の老朽化に伴う修繕等の必要性も高まっており、観光施策を取り巻く財政環境は厳しさを増しています。このような状況の中、観光振興を継続的かつ安定的に推進していくためには、従来の財源に依存するだけでなく、観光の取組自体が新たな需要や収益を生み出し、その成果を次の施策へとつなげていく視点が重要です。</p> <p>そのため、イベントの実施方法や事業手法の見直しによる効率化を図るとともに、民間活力の活用や利用者視点を踏まえた取組など、多様な手法の可能性について検討を進め、持続的な観光振興を支える財源の確保に努めます。</p> <p>また、財源確保にあたっては、関係法令や各種制度との整合性に留意しながら、施策の目的や内容に応じた適切な手法の組み合わせについて検討し、無理のない形での導入を図ります。</p> <p>【具体的な取組例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にしたガバメントクラウドファンディングの実施 ・まつり・イベントにおける収益性の向上および運営の効率化 ・観光施設や公共空間の利活用の見直しによる維持管理負担の軽減 ・体験型観光や周遊施策と連動した利用者参加型の取組の検討 	<p>いただいたご意見のとおり、観光振興を持続的に推進していくためには、従来の財源に依存するだけでなく、事業手法の見直しによる効率化や民間活力の活用など、多様な手法の可能性について検討していく視点が重要であると考えます。</p> <p>当該部分については、ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正することとします。</p> <p>イ 財源獲得のための新たな取組 (P60)</p> <p>昨今の物価や人件費の高騰の影響によるおまつり等のイベントの運営経費の増加や、観光施設の老朽化に伴う修繕等の必要性から観光財源がひっ迫している状況です。また、交流人口を拡大し地域経済を活性化していくためには、<u>新たな観光財源の獲得による観光施策の推進が必要です。このため、新たな収益源の確保や、イベント運営の効率化、民間活力の活用に向けた取組について検討していきます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的を明確にしたガバメントクラウドファンディング²⁷の実施等による新たな財源の獲得 ・ まつり・イベントにおける収益化及び運営の効率化の検討 ・ 企業との連携等、民間活力の活用による効率的な<u>観光地運営</u> 	有

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
			<p>下記の理由により、修正案を提示することとした。</p> <p>①「財源不足対応」から「観光の自立性確保」への転換 不足分を補う財源論ではなく、観光を地域経済を支える産業として自立させ、経済循環を生む構造づくりを示す視点へ転換する必要がある。</p> <p>②制度・税・補助金の具体論を前面に出さない整理 具体的手法を明示すると制度可否や庁内調整に論点が移るため、手法は可能性として抽象的に示し、計画段階での拘束を避け、運用段階で柔軟に選択できる構成とする。</p> <p>③イベント中心型観光からの転換 支出型・イベント依存型の構造から脱却し、事業効率化と需要創出の視点を通じて「実施する観光」から「成立する観光」への転換を図る。</p> <p>④行政計画としての運用余地の確保 新制度導入を決め打ちせず、財源論に過度に踏み込まずに方向性のみを明確化することで、議会説明・庁内調整に配慮しつつ実施段階での実効性を確保する。</p>		

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
3	全体	-	<p>次のとおり、観光関連施策について提案するので検討してほしい。</p> <p>【案1：上杉公園お堀の観光舟運】 上杉公園のお堀に観光用の舟を運行し、四季の景観と組み合わせた体験型観光を創出する。滞在時間の延長や写真映えによる集客効果が期待できる。</p> <p>【案2：斜平山麓の花の公園化】 斜平山の斜面に四季の花を植栽し、市内外から人を呼ぶ花の名所を整備する。平日集客の底上げや、高齢者の維持管理雇用の創出が期待できる。</p> <p>【案3：斜平山における遊歩道とジップライン整備】 遊歩道を整備し、有料送迎サービスを導入して散策観光を強化する。さらに山頂から長距離ジップラインを整備し、日本一を目指す体験型観光の目玉とする。</p>	<p>このたびは、観光振興に関する貴重なご提案をお寄せいただきありがとうございます。</p> <p>ご提案の内容を実施するにあたっては、安全性の確保、自然環境への配慮、景観との調和、事業採算性、維持管理体制、関係法令との整合性など、多角的な検討が必要となります。そのため、本計画への具体的な反映は行いませんが、いただいたご提案につきましては、今後の観光施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
4	全体	—	<p>米沢市は、小野川温泉や天元台温泉をはじめとする魅力ある温泉資源を有しており、これらを道の駅と連携させることで、観光の滞在価値向上と市内温泉地への送客促進が期待できると考える。については、計画案において次の点を検討してほしい。</p> <p>1. 道の駅に隣接する温泉機能の整備・連携推進 気軽に立ち寄れる温泉機能を整備し、市内温泉地の情報発信を行うことで、市内全体への波及効果を図ること。</p> <p>2. 道の駅における簡易温泉設備の設置 簡易温泉設備を設置し、期間限定で市内各温泉地の温泉水を紹介・提供するなど、話題性と再訪意欲を高める事業を検討すること。</p> <p>本提案は、道の駅利用者の満足度向上、温泉地の認知度向上、滞在時間・再訪率の向上を通じ、米沢市の観光振興と地域活性化に資するものと考え、計画案への反映を検討してほしい。</p>	<p>このたびは、道の駅と温泉資源を生かした観光振興に関するご提案をお寄せいただきありがとうございます。</p> <p>道の駅を観光の入口として位置付け、温泉機能との連携により滞在価値を高めるという視点や、市内各温泉地への送客につなげる仕組みづくりにつきましては、本市の観光振興を考える上で重要な観点の一つであると認識しております。道の駅米沢では、これまで、デジタルとアナログ双方の活用による本市の魅力的な地域資源についての情報発信や着地型旅行商品の造成と提供、「まちナビカード」事業（本計画案 P75 に記載している取組）を実施し、道の駅米沢のゲートウェイ機能を活用して、温泉をはじめとする地域内への周遊促進に取り組んできました。</p> <p>ご提案の内容を実施するにあたっては、事業採算性、維持管理体制など、多角的な検討が必要となります。そのため、本計画への具体的な反映は行いませんが、いただいたご提案につきましては、今後の観光施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
5	全体	—	<p>関係人口の増加を通じて地域活性化を図る観光振興を提案する。</p> <p>資源(P)→活用計画(D)→経済効果(C)→改善(A)の循環により、持続的な地域活性化を目指す。</p> <p>【例】 萬世大路の活用(P)→保存整備や散策事業、校外学習への活用(D)→地域交流や学習効果の創出(C)→氷筍や巨石、貝化石層など資源の磨き上げ(A)</p> <p>併せて、営利目的でない活動への公的助成の仕組みづくりと、長時間散策に対応するためのトイレ整備等の受入環境整備を求める。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、地域資源を活用した観光振興を進める上で、その資源の価値を生かしながら地域との関わりを深め、関係人口の創出や地域活性化につなげていく視点は重要であると認識しています。</p> <p>地域資源の保存・整備については、それぞれの地域資源が有する根源的価値に基づき、保全と活用を図っていただくべきものと考えております(例：土木遺産であれば歴史的価値を有する土木構造物として、文化遺産であれば歴史的価値を有する文化的遺産として、それぞれの価値に応じた保存・整備を行う)。その上で、観光部門の役割としては、地域資源の魅力を広く発信するとともに、観光コンテンツの造成や誘客施策の展開など、地域資源を生かした観光振興やプロモーションを行うことにより、地域への誘客や交流の拡大を図ることにあると考えております。</p> <p>このため、地域資源の整備や維持管理に関する仕組みづくりについては、本計画における観光施策の範囲とは異なることから、本計画への記載は行わないこととします。</p> <p>なお、文化・スポーツ分野との連携を強化し、交流人口の拡大を図ることを目的として、令和8年4月に「観光文化スポーツ部」を新設する予定です。今後は、新たな部内における相互連携により、それぞれの地域資源の情報発信や、それらを活用した観光コンテンツの造成などに横断的に取組んでいきたいと考えております。</p>	無

第5期米沢市観光振興計画（案）に対する議会からの意見への回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
市政協議会（1月23日）での意見					
1	第3章 本市の 目指す姿と目標 6 具体的な施策 (4) 観光振興 と市民生活のし あわせ向上循環 ②観光をフック にした関係人口 の拡大	73	本市を訪れた方にふるさと納税や移住・定住に関する情報 発信を行うという内容になっているが、ふるさと納税を行 っていただいた方に本市の観光情報の発信を行っていく ことも必要ではないか。	いただいたご意見を踏まえ、本計画の当該部分について次 のとおり修正することとします。 P73 ② 観光をフックにした関係人口の拡大 人口減少が深刻化する中、地域づくりの重要な鍵とな るのが関係人口の増加です。関係人口の増加は、ふるさと 納税による継続的な応援、移住・定住の促進による長 期的な人口減少対策、将来的な地域づくりの担い手の獲 得に繋がります。観光客を将来的な関係人口へと発展さ せていくために、一時的に観光目的で来訪された方々が リピーターになることを意識した取組を行い、リピータ ーからふるさと納税による応援や移住促進へ繋げる施策 を実施します。また、 <u>ふるさと納税者への情報発信を通 じて、本市への来訪・観光機会の創出とリピーター増加 に繋げていきます。</u> さらに、観光客と地域の方々が交流 する機会を創出することで関係人口の拡大を図ります。 地域の歴史、文化、 <u>スポーツ、産業等の資源</u> を、知識や スキルを得るためのコンテンツに磨き上げ、参加者が地 域の専門家や職人と交流する機会を提供するプログラ ムの造成に努めます。	有

				<p>主な取組</p> <p>ア ふるさと納税と移住定住の促進に向けた情報発信 人口減少による経済の縮小と税収の減少に対応するため、経済の活性化と行政サービスの維持を図る必要があります。</p> <p>観光で本市を訪れた方々に、ふるさと納税や移住・定住に関する情報発信を行うとともに、ふるさと納税を行っていただいた方々へ本市の観光関連情報の発信を行い、ふるさと納税による本市への応援者と関係人口の更なる拡大を図っていきます。</p> <p>市外からのふるさと納税による寄附は行政サービスを維持・向上させるための重要な基盤となり、また、移住の促進は、新たな担い手の確保による労働力人口の回復と地域内消費の拡大による経済の活性化に繋がるため、効果的な情報発信に注力していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客・イベント参加者を対象とした、ふるさと納税・移住定住サイトへの誘導 ・ <u>ふるさと納税者を対象とした、本市の観光関連情報の発信</u> ・ おしよしな観光大使の知名度や情報発信力を生かした、大使のファン層へのふるさと納税についての情報発信 ・ 観光案内所と移住相談窓口の連携 	
--	--	--	--	---	--

2	全体	—	<p>観光文化スポーツ部新設に伴い、文化とスポーツに関する内容を計画内に盛り込む必要があるのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、本計画について次のとおり修正することとします。</p> <p>OP2「4 計画策定の趣旨」部分の末尾に次の文言を追記します。 「また、観光・文化・スポーツの連携を強化し、交流人口拡大により一層注力していくため、令和8年4月に観光文化スポーツ部を新設し、本計画の施策を着実に実行していきます。」</p> <p>OP3「5 計画の位置づけ」の「関連する個別計画」に、米沢市教育振興基本計画と米沢市スポーツ推進計画を追記します。</p> <p>OP53「3 本計画における重点的視点」の「(1) 地域資源を活用した滞在時間の長期化を図る滞在型観光の推進」について、次のとおり文言を追記します。</p> <p>観光消費額拡大を図るためには、観光客の本市での滞在時間を伸ばすことが重要です。本市の特徴的な地域資源である「米沢八湯」を活用し宿泊者数の増加を目指します。温泉を活用した観光コンテンツの造成を行い、宿泊需要の創出と本市全体での滞在時間の長期化による観光消費額の増加を図っていきます。</p> <p><u>また、文化・スポーツ分野との連携を強化することにより、地域資源の磨き上げの一層の促進を図り、交流人口の拡大と賑わいの創出につなげます。</u></p> <p>さらに、国外メディア等において山形県への注目が高まり、国際的な認知度が向上していることから、この機会を最大限に生かすため、関係機関と連携してインバウンド受入体制の整備を推進します。</p>	有
---	----	---	---	--	---

				<p>○P59「エ 観光関連団体や事業者との連携と各種ツーリズム等推進による観光魅力づくり」の具体的な取組について、次のとおり文言を追記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まつり文化の継承と発展、市民や企業の参加促進 ・ 農業体験や農家民泊体験を生かした教育旅行の推進 ・ 観光関連団体等と連携した各種ツーリズム（<u>スポーツツーリズム</u>²³、<u>ヘルスツーリズム</u>²⁴、<u>フルーツ・ツーリズム</u>²⁵、<u>アドベンチャーツーリズム</u>、<u>産業ツーリズム</u>²⁶、<u>シルバーツーリズム</u>²⁷等）の推進 ・ 市内スキー場等と連携した誘客促進事業の実施 ・ 冬季における雪を生かした観光コンテンツの造成と情報発信、誘客促進事業の実施 <p>○P60「オ （仮称）「上杉謙信公生誕500年プロジェクト」実施に向けた取組」の具体的な取組について、次のとおり文言を追記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姉妹都市「上越市」や関係自治体、団体との連携による（仮称）「上杉謙信公生誕500年プロジェクト」実施にかかる各種事業の実施 ・ <u>デジタルコンテンツを生かした上杉博物館常設展示室の充実に合わせた誘客プロモーションの実施</u> <p>○P61「ウ 地域貢献型観光コンテンツの実施」について、次のとおり文言を修正します。</p> <p>人口減少に伴うおまつりやスポーツイベント等の運営の担い手不足に対応するため、「地域貢献型観光」の考え方を導入し、イベント等の参加者である観光客がボランティア等に参加し、社会貢献を実感できるような仕組みづくりについて検討・実施します。</p>	
--	--	--	--	--	--

				<ul style="list-style-type: none"> ・ おまつりやスポーツイベント等における観光客のボランティア等を通じた地域貢献型観光コンテンツの造成 <p>○P66「ウ 歴史と文化を生かした観光の推進」の具体的な取組について、次のとおり文言を追記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上杉謙信公生誕 500 年を契機とした誘客プロモーションの実施 ・ <u>デジタルコンテンツを生かした上杉博物館常設展示室の充実に合わせた誘客プロモーションの実施（再掲）</u> ・ 着付け体験により地域資源に触れる機会を提供する体験型観光客受入施設「和庭」の運営 ・ 草木塔などの地域に残る精神文化や歴史遺産を活用した事業の実施 <p>○P73「② 観光をフックにした関係人口の拡大」について、次のとおり文言を追記します。</p> <p>人口減少が深刻化する中、地域づくりの重要な鍵となるのが関係人口の増加です。関係人口の増加は、ふるさと納税による継続的な応援、移住・定住の促進による長期的な人口減少対策、将来的な地域づくりの担い手の獲得に繋がります。観光客を将来的な関係人口へと発展させていくために、一時的に観光目的で来訪された方々がリピーターになることを意識した取組を行い、リピーターからふるさと納税による応援や移住促進へ繋げる施策を実施します。また、<u>ふるさと納税者への情報発信を通じて、本市への来訪・観光機会の創出とリピーター増加に繋げていきます。</u>さらに、<u>観光客と地域の方々が交流する機会を創出することで関</u></p>	
--	--	--	--	--	--

				係人口の拡大を図ります。地域の歴史、文化、 <u>スポーツ</u> 、 <u>産業等の資源</u> を、知識やスキルを得るためのコンテンツに磨き上げ、参加者が地域の専門家や職人と交流する機会を提供するプログラムの造成に努めます。	
--	--	--	--	--	--

意見 2件